

のりちゃんさん

信愛幼稚園園長通信 NO. 8

2023年6月20日

発行：横田 法子

入園・進級から3カ月。あっという間に感じるか、長かったなあと感じるか、時は平等に流れているのに、人によって感じ方が異なるから不思議ですね。今年度は環境に慣れておともだち関係を築くのが概ね早かったように感じます。それは、幼稚園に送り出していただく際に、保護者の方がためらいや不安をお子さんに見せることなく、信頼を示してくださっているゆえと感謝いたします。

ドキドキで入園したちゅうりっぷさんも園にすっかり慣れて、やんちゃぶりを発揮。保育者が立ちほだかるべき場面も増えてきました。受容最優先の時期で築いてきた信頼関係をさらに育てながら、メリハリをつけて寄り添っていきます。ほらさんもゆりさんも壁を乗り越える中でたくましくしなやかに成長します。時には愛情を持って壁として立ちほだかることにご理解いただき、見守っていただけたら幸いです。勿論、保育について気にかかることがありましたらご意見やご相談を寄せてくださいますようお願いいたします。

Instagramを毎週金曜日に更新しています。写真解説は最低限で！と、園長から担任に制限をかけています。もっと説明が欲しいと思われる方もおられるかもしれませんが、実は園長は現行よりもっとボリュームダウンが良いと思っています。こどもの感じ方や見え方はそれぞれ異なります。大人同士がこどもに先立って事柄を説明し理解を完結させてしまうのではなく、直接お子さんの世界に目と耳と心を寄せることを大切にしていきたいと願います。そのために「余白」は重要です。大人が聞きたいことを根掘り葉掘り問うのではなく、お子さんが「あのね・・・」と伝えたいことを伝えられたら良いですね。お子さんのことは何でも知りたい解っていたいと思うのが親というものですが、大人には解らないこどもの世界もあります。説明し尽くせるような力が備わっていないこともあります。知りたいモードがONになったときには要注意。お子さんが「もう話したくない」とか「話すのは面倒くさい」とならないように、ぐっとこらえて深呼吸をして、お話してくれたことに対する“ありがとう”を言ってあげてください。

園でどのような体験をしたのか、その時の気持ちはどうだったか、などなど。お子さんのお話や思いを聞きだすきっかけとして、Instagramをお役立ていただけたら幸いです。週末にぜひご家族で写真をご覧になる時間を過ごしてみてください。